



フロントサラウンドシステム
YAS-109
取扱説明書

ご使用前に製品同梱の冊子「安全上のご注意」を必ずお読みください。

目次

お知らせ	4
はじめに	6
本機でできること	6
付属品について	9
リモコンについて	9
各部の名称	11
本体の各部名称（前面/上面）	11
本体の各部名称（背面）	13
リモコンの各部名称	14
準備する	16
1 設置する	16
本機を設置する	16
2 本機とテレビを接続する	17
オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビを接続する	17
オーディオリターンチャンネル（ARC）非対応テレビを接続する	18
3 本機とAV機器を接続する	18
AV機器をHDMI接続する	18
4 外部サブウーファーを接続する	19
外部サブウーファーを接続する	19
5 電源に接続する	19
電源に接続する	19
6 ネットワークに接続する	20
ネットワーク機能について	20
有線ネットワークに接続する	20
無線ネットワークに接続する	21
Sound Bar Controller アプリを使ってネットワークに接続する	21
再生する	23
基本操作	23
再生の基本手順	23
音声で操作する（Amazon Alexa）	25
お好みのサウンドを選ぶ	28
3Dサラウンド/サラウンドで再生する	28
サラウンドモードを選択する	28
2chステレオで再生する	28
人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）	29
迫力がある低音を楽しむ（バスエクステンション）	29
Bluetooth®機器を活用する	30
Bluetooth®機器の音楽を聴く	30
再生時に便利な機能	32
テレビのリモコンで本機を操作する（HDMIコントロール機能）	32
二ヶ国語放送の音声を切り替える	33
本機の設定や音声信号の情報を表示する	34

Sound Bar Controller アプリで音楽を再生する	35
ストリーミングサービスについて	35
モバイル機器の曲を再生する	35
設定する	36
設定する	36
ランプの明るさを調節する (ディマー)	36
HDMIコントロール機能を設定する	37
HDMI音声出力を設定する	38
自動スタンバイ機能を設定する	39
タッチパネルの有効/無効を設定する (チャイルドロック機能)	39
ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を設定する	40
無線 (Wi-Fi) 機能の有効/無効を設定する	41
Bluetooth 機能の有効/無効を設定する	41
本機のファームウェアを更新する	42
HDMI 信号のフォーマットを設定する	42
初期設定に戻す	43
ダイナミックレンジ圧縮を設定する	43
付録	45
困ったときは (概要)	45
困ったときは (電源/動作全般)	45
困ったときは (音声)	49
困ったときは (Bluetooth®)	51
困ったときは (ネットワーク)	52
仕様	54
主な仕様	54
対応しているHDMI映像・音声信号フォーマット	56
対応しているデジタル音声信号フォーマット	57
専門業者様へのご案内	58
本機を壁に取り付ける	58

お知らせ

お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

製品に搭載されている機能に関するお知らせ

この製品で利用可能な第三者が提供するサービスについては、予告なく変更、停止または終了されることがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標などに関するお知らせ

DOLBY AUDIO

Dolby、ドルビー、Dolby Audio、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS の特許に関しては<http://patents.dts.com>をご覧ください。

本製品はDTS, Inc.のライセンスに基づき製造しています。DTS、そのシンボルマーク、DTSとそのシンボルマークの組み合せ、DTS Digital Surround、DTS Virtual:Xは米国及びその他の国々におけるDTS, Inc.の登録商標又は商標です。

© DTS, Inc. All Rights Reserved.



AACロゴマーク（マーク）はドルビーラボラトリーズの商標です。



Amazon、Alexa、Amazon Music、Kindle および関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

App StoreSM

App StoreはApple Inc.のサービスマークです。



HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

x.v.ColorTM

「x.v.Color」は、ソニー株式会社の商標です。

AndroidTM Google PlayTM

Android、Google Playは、Google LLC.の商標または登録商標です。



Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。

Wi-FiおよびWi-Fi CERTIFIEDはWi-Fi Allianceの登録商標です。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ヤマハ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



SpotifyおよびSpotifyロゴはSpotify Groupの登録商標です。

Spotifyのソフトウェアは、次に記載のサードパーティソフトウェアを利用しています。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses

本書の記載内容に関するお知らせ

- ・本書は以下の方を対象とした取扱説明書です。
 - 本機をお使いになる方
 - 本機を壁に設置する工事業者や販売店の方
- ・本書では注意事項などを以下のように分類しています。
 - **警告**
「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 - **注意**
「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
 - **■ 注意**
製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。
 - **■ お知らせ**
使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。
- ・本書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。
- ・本書ではiOSおよびAndroidが搭載された携帯端末を総称して「モバイル機器」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。

はじめに

本機でできること

概要

本機はご家庭のテレビに接続して、高音質なサウンドをお楽しみいただくためのサブウーファー内蔵のフロントサラウンドシステムです。

■ サラウンドを楽しもう



■ Alexa に話しかけて操作しよう



*スマートホーム機器によっては接続するためのハブ（別売）が必要です。

■ スマートフォンアプリで快適操作



■ Bluetooth やストリーミングサービスを聴いてみよう



3Dサラウンドモード

バーチャル3Dサラウンド技術「DTS Virtual:X」に対応し、前方・左右・後方に加え、高さ方向の音場もバーチャルで再現する3Dサラウンドモードを搭載しています。これにより、映像と音声との一体感が向上し、前後・左右だけでなく上方から包まれるような音の広がりが生まれることで、映像・音楽の世界への没入感が得られます。詳しくは次をご覧ください。

- ・「3Dサラウンド/サラウンドで再生する」（28ページ）

4K/HDR（ハイダイナミックレンジ）映像の伝送に対応

4Kハイダイナミックレンジコンテンツ（HDR対応のテレビ、メディアストリーミング端末、ゲーム機、セットトップボックスなど）の高精細な映像をお楽しみいただけます。詳しくは次をご覧ください。

- ・「対応しているHDMI映像・音声信号フォーマット」（56ページ）

HDMIコントロール機能

テレビと本機を、テレビのリモコン1つで連動操作できます。また、本機はARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しているため、ARC対応テレビをお使いの場合はHDMIケーブル1本で接続できます。詳しくは次をご覧ください。

- ・「テレビのリモコンで本機を操作する（HDMIコントロール機能）」（32ページ）
- ・「オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビを接続する」（17ページ）

バスエクステンション

バスエクステンションにより、不足しがちな低音を増強し、迫力のある音を再現します。詳しくは次をご覧ください。

- ・「迫力がある低音を楽しむ（バスエクステンション）」（29ページ）

クリアボイス

クリアボイスにより、人の声（セリフやアナウンスなど）を聞き取りやすくできます。詳しくは次をご覧ください。

- ・「人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）」（29ページ）

付属品について

付属品を確認する

付属品がすべて揃っていることを確認してください。



□ 本機 (YAS-109)



□ リモコン
※ リチウムコイン電池
(CR2025) はセット済
みです。



□ 電源コード



□ 光デジタルケーブル



□ スペーサー
(2個/1シート)
※ 本機を壁に設置する
ときに使います。



□ 取付用テンプレート
※ センターユニットを壁に設置する際に
使用します。



□ スタートアップガイド



□ 安全上のご注意

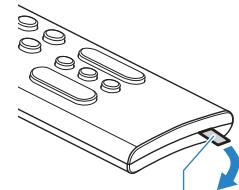


□ 保証書

リモコンについて

リモコンを準備する

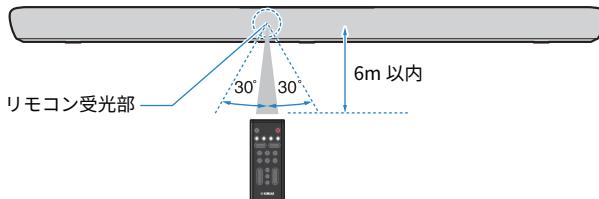
電池の絶縁シートを引き抜いてから、リモコンを使用してください。



絶縁シート

リモコンの操作範囲

本体正面のリモコン受光部にリモコンを向け、次の範囲内で操作してください。



リモコンの電池を交換する



警告

- コイン/ボタン電池を飲み込まない。
- 使用済みを含む、すべてのコイン/ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かない。
- 電池ケースが破損したりモコンを乳幼児の手の届くところに置かない。

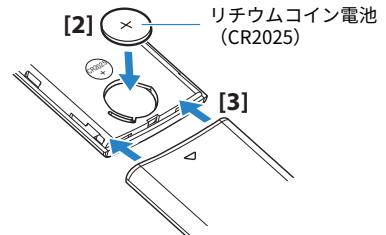
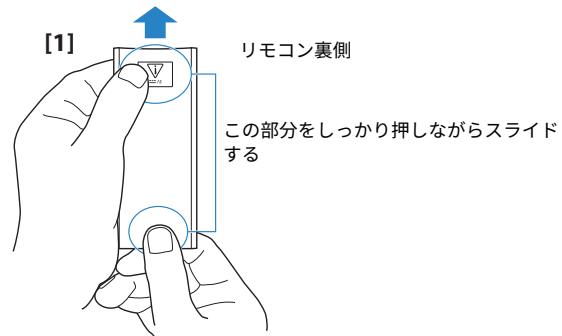
本製品に付属するリモコンはコイン/ボタン電池を内蔵しています。コイン/ボタン電池を飲み込んだ場合、2時間以内に深刻な化学やけどや体内組織の融解が発生し、死亡する可能性があります。万一、コイン/ボタン電池を飲み込んでしまった可能性がある場合は、すぐに医師にご相談ください。



注意

- 電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しないでください。電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

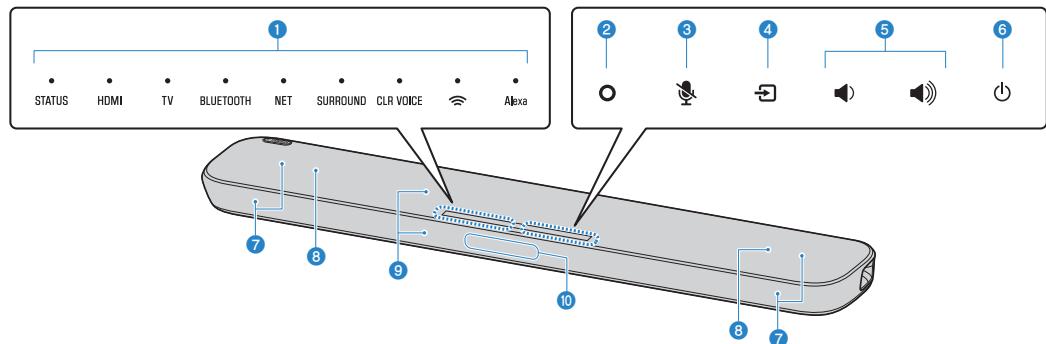
フタを矢印の方向にスライドして外し[1]、古い電池を取り出して新しい電池と交換します[2]。フタを矢印の方向にスライドして戻します[3]。



各部の名称

本体の各部名称（前面/上面）

本体の前面/上面の名称と機能について説明します。



① ランプ

ランプが点滅/点灯することで、操作や設定状況を示します。本書ではランプの消灯/点灯/点滅を次のように表わしています。

● 消灯

● 点灯

● 点滅

② ○ (Alexa)

Alexa を呼び出します（25ページ）。

③ 🎤 (マイク無効)

マイクを無効にします。マイクが無効の間はAlexa に呼びかけても反応しません。プライバシーを守りたい場合にお使いください。もう一度タッチするとマイクが有効になります（25ページ）。

④ ⏪ (入力切換)

再生する機器を選びます（23ページ）。

⑤ 🔍 / 🔍 (音量+/-)

音量を調節します（23ページ）。

⑥ ⏹ (電源)

本機の電源をオン/オフします。

⑦ スピーカー

⑧ 内蔵サブウーファー

サブウーファーは本機の上面に内蔵されています。

⑨ リモコン受光部

本機のリモコンの赤外線信号を受信します（9ページ）。

⑩ マイク

Alexaに話しかけるためのマイクです。

■ 注意

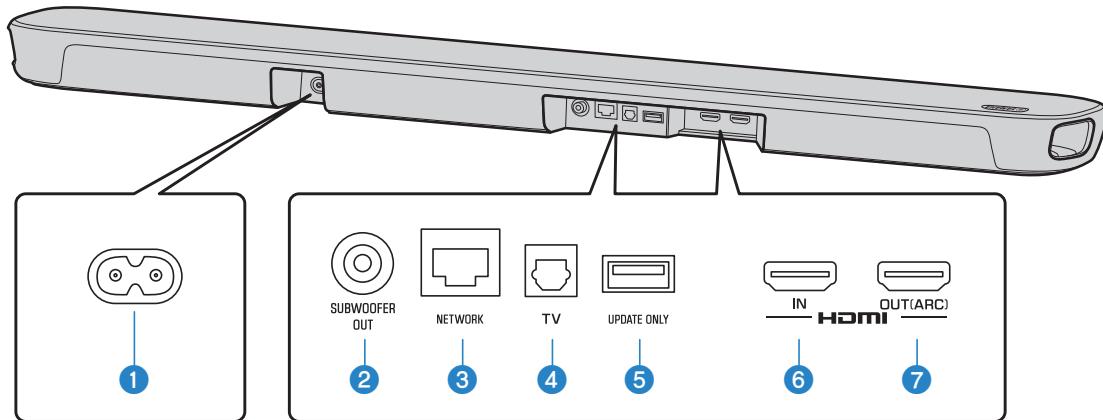
- 本機のお手入れの際には、掃除機やエアダスターをマイク部に使わないでください。マイクが劣化する恐れがあります。

■ お知らせ

- ②～⑥はタッチセンサーです。指先がマークの上に触れると反応します。
- 意図しない動作を防ぐため、タッチパネルの上にものを置かないでください。
- タッチパネルを無効にすると、本体のタッチパネルの操作ができなくなり、誤操作を防止できます。
 - 「タッチパネルの有効/無効を設定する（チャイルドロック機能）」（39ページ）
- ランプの明るさをリモコンのミュージックボタンで調節できます。詳しくは次をご覧ください。
 - 「ランプの明るさを調節する（ディマー）」（36ページ）

本体の各部名称（背面）

本体の背面の名称と機能について説明します。



① AC電源入力端子

本体の電源コードを接続します（19ページ）。

② SUBWOOFER OUT（サブウーファー出力）端子

ピンケーブルを使って外部サブウーファーを接続します（19ページ）。

③ NETWORK（ネットワーク）端子

本機をネットワークに接続します（20ページ）。

④ TV入力端子

光デジタルケーブルを使ってテレビを接続し、音声を入力します（18ページ）。

⑤ UPDATE ONLY（アップデート専用）端子

本機のファームウェアをアップデートするときに使います。

詳細については、ファームウェアに添付される説明書をご覧ください。

⑥ HDMI IN端子

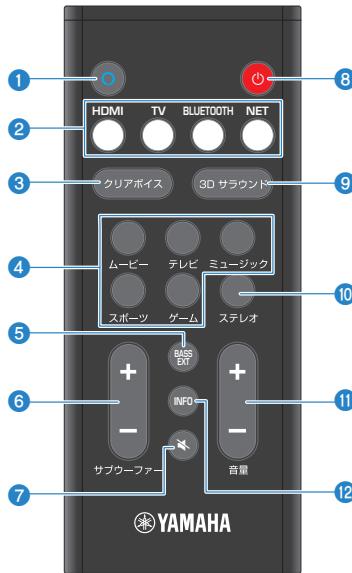
BD（ブルーレイディスク）/DVDレコーダーや衛星放送/ケーブルテレビ/ネットワーク動画配信サービスのチューナー、ゲーム機など、HDMI出力対応のAV機器を接続し、映像/音声を入力します（18ページ）。

⑦ HDMI OUT（ARC）端子

HDMI入力対応のテレビを接続し、映像/音声を出力します（17ページ）。ARC使用時は、テレビ音声の入力も可能です。

リモコンの各部名称

リモコンの名称と機能について説明します。



① ○ (Alexa) ボタン

Alexaを呼び出します (25ページ)。

② 入力ボタン

再生する音声ソースを選びます。

- HDMIボタン：HDMI IN端子に接続した機器の音声 (18ページ)
- TVボタン：テレビの音声 (17ページ)
- BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声 (30ページ)
- NETボタン：ストリーミングサービスの音声 (35ページ)

③ クリアボイスボタン

クリアボイス機能の有効/無効を切り替えます (29ページ)。

④ サラウンドモードボタン

3Dサラウンド再生またはサラウンド再生時に、お好みのサラウンドモードを選びます (28ページ)。

- ムービー
- テレビ
- ミュージック
- スポーツ
- ゲーム

⑤ BASS EXTボタン

バスエクステンション機能の有効/無効を切り替えます (29ページ)。

⑥ サブウーファー (+/-) ボタン

サブウーファーの音量を調節します (23ページ)。

⑦ ✕ (消音) ボタン

消音します (23ページ)。もう一度押すか、音量 (+/-) ボタンを押すと消音を解除します。

⑧ Ⓞ (電源) ボタン

本機の電源をオン/オフします。

電源オン



消灯

電源オフ



点灯 (赤)

ネットワークスタンバイ機能とHDMIコントロール機能が無効に設定されている場合は消灯します。

ボイスコントロール待ち受け状態

(25ページ)



点灯 (白)

⑨ 3Dサラウンドボタン

押すたびに、3Dサラウンド再生とサラウンド再生を切り替えます (28ページ)。

⑩ ステレオボタン

ステレオ再生 (2chステレオ) に切り替えます (28ページ)。

⑪ 音量 (+/-) ボタン

本機の音量を調節します (23ページ)。

⑫ INFO ボタン

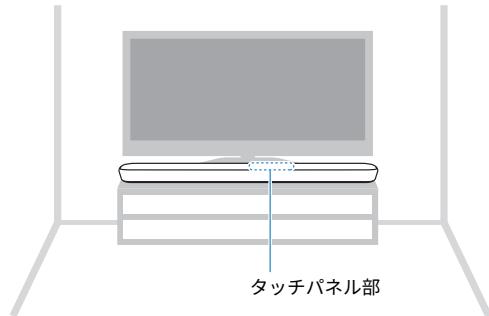
- 再生中の音声信号の種類や本機の設定を表示します (34ページ)。
- ボタンを5秒以上押すと、地上デジタル/BSデジタル放送 (モノラル多重音声) の主音声/副音声を切り替えることができます (33ページ)。

準備する

1 設置する

本機を設置する

次の図のように本機を設置します。



■ 注意

- 本機とBDレコーダーなどを直接重ねないでください。振動により機器が故障することがあります。
- 本機を持つときなどに、強い力をかけないでください。スピーカーユニットや、布の部分を破損する恐れがあります。
- 本機は非防磁のスピーカーを搭載しています。故障の原因となりますので、ハードディスクドライブなどの磁気に弱い機器を本機の近くに設置しないでください。

■ お知らせ

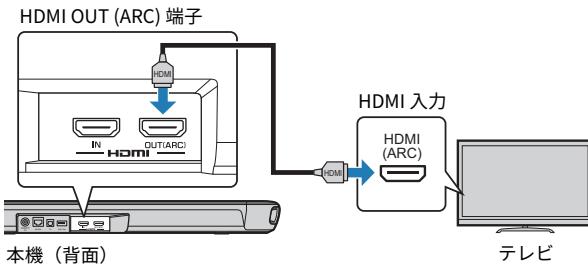
本機は、壁に取り付けることもできます。詳しくは次をご覧ください。

- 「本機を壁に取り付ける」 (58ページ)

2 本機とテレビを接続する

オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応テレビを接続する

ARC対応のHDMIケーブル（市販）を使って、本機にオーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビを接続します。



■ オーディオリターンチャンネル (ARC) とは

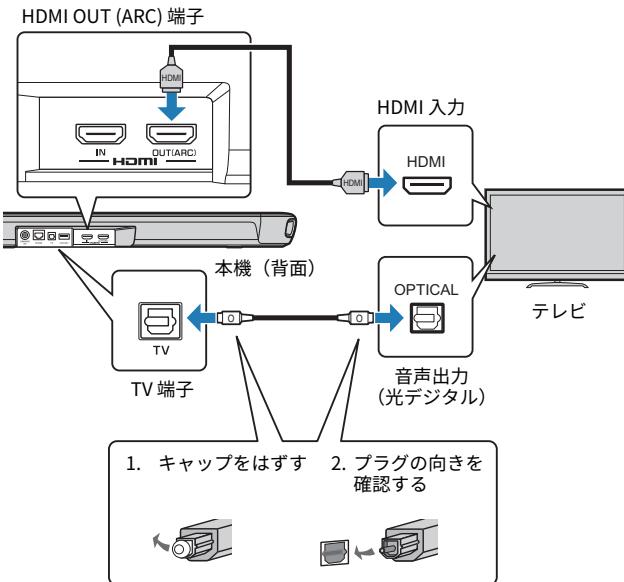
テレビがARCに対応している場合は、本機からテレビに映像を伝送するHDMIケーブルを使って、テレビの音声を本機に入力することができます。1本のHDMIケーブルで双方向の音声信号伝送が可能になるため、HDMIケーブルとは別に音声ケーブルを接続する必要がありません。

■ お知らせ

- ・HDMIケーブルは、テレビのオーディオリターンチャンネル対応端子（「ARC」などの表示のある端子）に接続してください。
- ・オーディオリターンチャンネル（ARC）を有効にするには、本機のHDMIコントロール機能を有効にしてください。詳しくは次をご覧ください。
 - －「HDMIコントロール機能を設定する」（37ページ）
- ・HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- ・信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。
- ・3D映像、4K映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルをお使いください。
- ・オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビを接続した場合、TV入力端子は使用できません。

オーディオリターンチャンネル (ARC) 非対応テレビを接続する

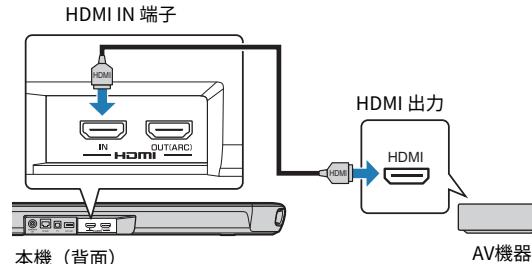
HDMIケーブル（市販品）と付属の光デジタルケーブルを使って、本機にテレビを接続します。



3 本機とAV機器を接続する

AV機器をHDMI接続する

HDMI ケーブル（市販品）を使って、本機にAV機器（メディアストリーミング端末など）を接続します。



■ お知らせ

- 本機のHDMIコントロール機能を有効にすると、本機の電源がオフのときでもテレビでAV機器の映像や音声を再生できます（HDMI信号バススルー）。詳しくは次をご覧ください。
 - 「HDMIコントロール機能を設定する」（37ページ）
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。
- 3D映像、4K映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルをお使いください。

■ お知らせ

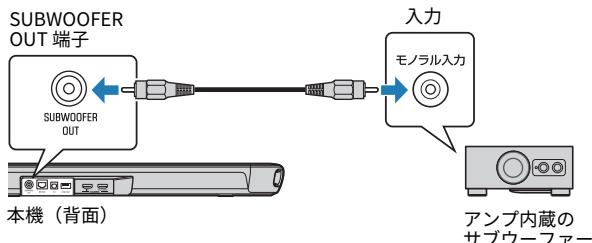
- HDMIロゴ入りのHDMIケーブル（19ピン）をお使いください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短いHDMIケーブルをお使いください。
- 3D映像、4K映像をお楽しみになる場合は、プレミアムハイスピードHDMIケーブルをお使いください。

4 外部サブウーファーを接続する

外部サブウーファーを接続する

本機はサブウーファーを内蔵していますが、さらに低音を強化するためにアンプ内蔵の外部サブウーファーを使用できます。

モノラルピンケーブル（市販品）を使って、本機に外部サブウーファーを接続します。



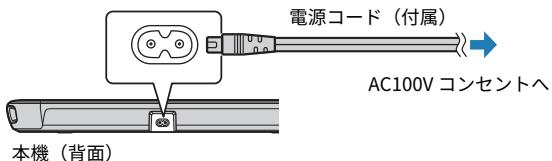
■ お知らせ

内蔵サブウーファーおよび外部サブウーファーの両方から音声出力されます。

5 電源に接続する

電源に接続する

すべての接続が完了したら、次のように本機を電源に接続します。



6 ネットワークに接続する

ネットワーク機能について

本機をネットワークに接続すると、各種ストリーミングサービスを本機で再生できます。また、本機に搭載されたAmazon Alexaに話しかけて、本機を操作したり、音楽を再生したりできます。

ネットワーク機能を使うための設定や操作は、モバイル機器専用アプリ「Sound Bar Controller」が必要です。

■ 注意

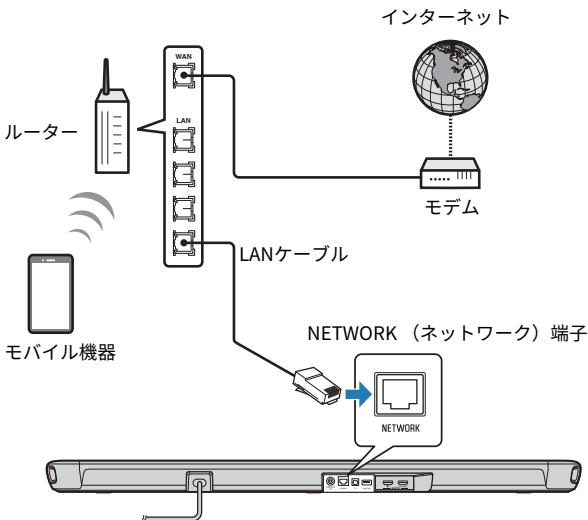
- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆回線LANを含む）には直接接続しないでください。

■ お知らせ

- ネットワークを利用するには、本機とモバイル機器が同じルーターに接続されている必要があります。
- マルチSSID対応ルーターでは、接続するSSIDにより他の機器へのアクセスが制限されることがあります。本機とモバイル機器は同じSSIDに接続してください。
- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がストリーミングサービスにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。
- ルーターのMACアドレスフィルターが有効になっている場合は接続できません。ルーターの設定を確認してください。
- サブネットを手動で設定する際は、すべて本機と同じサブネットに設定してください。
- インターネットサービスは、プロードバンド回線の使用をおすすめします。
- 本機は手動で設定が必要なネットワークには接続できません。DHCPが有効なルーターに接続してください。

有線ネットワークに接続する

有線ネットワークを利用するには、市販のLANケーブル（CAT-5以上のSTPストレートケーブル）を使って、本機をルーターに接続します。

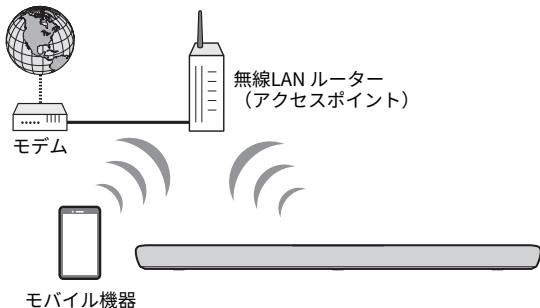


無線ネットワークに接続する

本機を無線LAN ルーター（アクセスポイント）に接続してネットワークを利用します。接続方法について、詳しくは次をご覧ください。

- ・「Sound Bar Controller アプリを使ってネットワークに接続する」（21ページ）

インターネット



■ お知らせ

- ・本機と無線LAN ルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できない場合があります。そのような場合は本機と無線LAN ルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。
- ・本機は2.4GHz帯のネットワークのみ対応しています。あらかじめ、モバイル機器を2.4GHz帯のネットワークに接続してから本機を設定してください。

Sound Bar Controller アプリを使ってネットワークに接続する

モバイル機器にSound Bar Controller アプリをインストールして本機をネットワークに接続します。

■ お知らせ

- ・お使いになるモバイル機器がご家庭のルーターに接続されているか、確認してから操作してください。
- ・ご使用のモバイル機器によっては、表示例とは表示が異なる場合があります。
- ・Sound Bar Controller の画面、メニュー名称などは予告なく変更される場合があります。

1 モバイル機器にSound Bar Controller アプリをインストールし、アプリを開く。

App Store または Google Play で「Sound Bar Controller」を検索して、インストールしてください。

2 アプリの画面に従って設定する。



無線ネットワークに接続すると、本機のランプが点灯します。



■ お知らせ

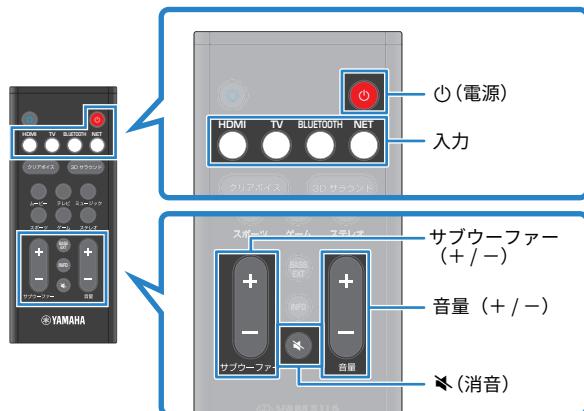
ご購入後初めて本機をネットワークに接続すると、最新のファームウェアにアップデートされます。

再生する

基本操作

再生の基本手順

音楽を再生する場合の基本的な操作方法を説明します。



- 1 Ⓛボタンを押して、本機の電源をオンにする。
- 2 本機に接続した外部機器（テレビ、BD/DVDレコーダー、ゲーム機など）の電源をオンにする。
- 3 入力ボタンを押して、視聴する機器を選ぶ。
HDMIボタン：HDMI IN端子に接続した機器の音声
TVボタン：テレビの音声
BLUETOOTHボタン：Bluetooth機器の音声
NETボタン：ストリーミングサービスの音声

選択した入力のランプが点灯します。
例：TV選択時



- 4 手順3で選択した機器を再生する。

- 5 音量 (+/-) ボタンを押して、音量を調節する。**
音量に応じて点灯するランプの数が増減します (Alexa ランプ以外)。



テレビのスピーカーと本機の両方から音声が出力されている場合は、テレビを消音してください。

- 6 お好みのサウンドに設定する。**

■ お知らせ

- サウンドの設定について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「3D サラウンド/サラウンドで再生する」 (28ページ)
 - 「サラウンドモードを選択する」 (28ページ)
 - 「2chステレオで再生する」 (28ページ)
 - 「人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）」 (29ページ)
 - 「迫力がある低音を楽しむ（バスエクステンション）」 (29ページ)
- Bluetooth機器の再生について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」 (30ページ)
- ストリーミングサービスの再生について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「ストリーミングサービスについて」 (35ページ)
- 一時的に本機を消音するには、ボタンを押します。消音を解除するには、再度ボタンを押すか、音量 (+/-) ボタンを押してください。



点滅 (消音中)

- HDMI入力音声をテレビから出力している場合は、音量 (+/-) ボタンやボタンを押しても音量は変化しません。
- サブウーファーの音量は、サブウーファー (+/-) ボタンで調節します。サブウーファーの音量は、全体の音量と独立して設定できます。
音量に応じて点灯するランプが変わります (Alexa ランプ以外)。



音量が下がる (−) 音量が上がる (+)

- テレビに接続した再生機器の音声や映像を試聴する場合は、本機の入力は「テレビ」に設定し、テレビ側の入力切換で再生機器を選んでください。

音声で操作する (Amazon Alexa)

本機に搭載されたAmazon Alexaにより、話しかけるだけで本機を操作したり、音楽を再生したりしてお楽しみいただけます。また、ほかのAlexa対応スマートホーム機器を音声で操作できます。

Alexa を使うには、Amazon アカウントが必要です。また、本機がネットワークに接続されている必要があります。Sound Bar Controller アプリの画面で、Amazon アカウントの情報を入力し、サービスにログインしてください。

音声で操作できる本機の機能は次の通りです。

- 入力の切り替え
- 音量の調整（消音）
- ストリーミングサービスの選択、再生
対応しているストリーミングサービスについては、次のウェブサイトをご覧ください。
<https://manual.yamaha.com/av/sb/ss/sbc/>

■ お知らせ

- 最新情報については、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。
- Amazon Music、Amazon Kindleをお聞きいただくには、有料サービスの申し込みが必要になる場合があります。詳しくは、Amazonのウェブサイトをご覧ください。
- そのほかのサービスについては、サービス提供者のウェブサイトをご覧ください。
- 本機からスマートホーム機器を操作する場合、製品によっては接続するためのハブ（別売）が必要です。

たとえば、こんな風に話しかけてください。

● 音量を調整する

アレクサ、音量を上げて。
アレクサ、音量を下げて。

● 入力を切り替える

アレクサ、入力をHDMI に切り替えて。

● ストリーミングサービスを聞く (Amazon Musicの場合)

アレクサ、90年代のJ-POP をかけて。

● 再生をコントロールする

アレクサ、次の曲。
アレクサ、ストップ。
アレクサ、この曲は何？

● 天気を聞く

アレクサ、明日の天気は？

● タイマーを設定する

アレクサ、10分間のタイマーをセットして。

■ お知らせ

- Alexa は Amazon が提供するサービスです。本サービスは予告なく変更、停止または終了されることがあります。ヤマハ株式会社は、本サービスの継続的な提供、また本サービスのご使用によって発生した責任について、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Alexa はサポートされる地域が限定されています。ご使用の国、地域によっては、この機能をご使用になれない場合があります。
- 一部の機能は、サードパーティが提供するサービスの契約が必要になります。
- 誤って Alexa が反応しないようにしたいときや、プライバシーを守りたいときは、本機の **■** をタッチしてマイクを無効にしてください。
- 「アレクサ」と呼びかけるかわりに、リモコンの **○** ボタンを押すか本機の **○** をタッチして、Alexa の聞き取りを開始することができます。
- ボイスコントロール待ち受け機能が有効の場合、本機は電源オフ状態でも呼びかけを受け付けます。Sound Bar Controller アプリを使って、ボイスコントロール待ち受け機能の有効/無効を設定できます。
- Amazon が提供するモバイル機器専用アプリ「Amazon Alexa」を使うと、さらに詳細な設定や機能の追加ができます。詳しくは、Amazon Alexa アプリのヘルプガイドをご覧ください。

■ Alexaランプの表示

本機の Alexa ランプは、Alexa の状態に応じて以下のように点灯します。

Alexa ランプ（例）	Alexa の状態
 Alexa	待ち受け中
 消灯	
 Alexa	聞き取り中
 点灯（水色）	
 Alexa	リクエストの処理中
 Alexa	点滅（青）
 Alexa	応答中
 Alexa	ゆっくり点滅（青と水色）
 Alexa	タイマーや目覚まし、リマインダーなどのお知らせ
 Alexa	速い点滅（青と水色）
 Alexa	通知を受信したとき
 Alexa	点滅（黄）

Alexa ランプ (例)	Alexa の状態
	マイク無効
点灯 (赤)	
	システムの設定が変更されたとき
点灯 (オレンジ)	
	エラー
3回点滅 (赤)	

お好みのサウンドを選ぶ

3D サラウンド/サラウンドで再生する

3D サラウンドボタンを押すたびに、3D サラウンド再生とサラウンド再生が切り替わります。再生する音源やお好みに合わせて3D サラウンド再生またはサラウンド再生を選んでください。

3D サラウンド再生を選ぶと、DTS Virtual:X を使用して、水平方向だけでなく、高さ方向の表現を伴ったサラウンド再生を楽しめます。

3D サラウンド再生



点灯（青）：3D サラウンド

サラウンド再生



点灯（白）：サラウンド

サラウンドモードを選択する

3D サラウンド再生やサラウンド再生では、視聴するコンテンツに合わせて、ムービー/テレビ/ミュージック/スポーツ/ゲームの各ボタンでサラウンドモードを選べます。



2chステレオで再生する

ステレオボタンを押して、再生する音源や好みに合わせてステレオ再生（2chステレオ）に切り替えます。

SURROUNDランプは消灯します。



消灯

人の声を明瞭に再生する（クリアボイス）

クリアボイスボタンを押して、クリアボイスを有効になると、映画やドラマのセリフ、ニュースやスポーツ中継のアナウンスなど、人の声を聞き取りやすくなります。

もう一度押すと無効になります。ランプが消えます。



迫力がある低音を楽しむ（バスエクステンション）

BASS EXT ボタンを押して、バスエクステンションを有効になると、不足しがちな低音を増強し、迫力のある音を楽しむことができます。

もう一度押すと無効になります。



■ お知らせ

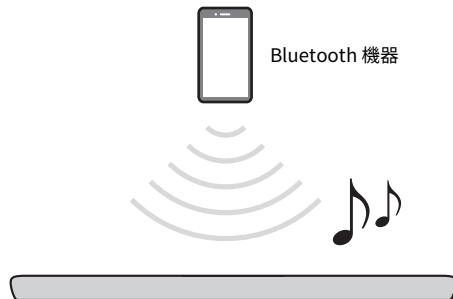
INFO ボタンを押すと、バスエクステンションの有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「本機の設定や音声信号の情報を表示する」（34ページ）

Bluetooth®機器を活用する

Bluetooth®機器の音楽を聴く

スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどのBluetoothに対応した機器の音声を、ワイヤレスで接続して本機で再生できます。



■ お知らせ

- 独自の音質特性改善技術「ミュージックエンハンサー」により、圧縮前の音源が持つ深みやみずみずしさをお楽しみいただけます。
- 初期設定ではネットワークスタンバイ機能が有効に設定されています。本機の電源がオフの状態でBluetooth機器側から本機にBluetooth接続すると、本機の電源もオンになり、すぐにBluetooth機器の音声を再生できる状態になります。詳しくは次をご覧ください。
- 「ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を設定する」 (40ページ)

- 1 BLUETOOTHボタンを押し、本機の入力をBluetoothに切り替える。

接続待ちの状態になり、BLUETOOTHランプが点滅します。



■ お知らせ

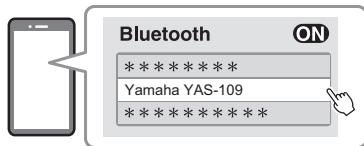
他のBluetooth機器を接続したことがある場合、BLUETOOTHボタンを押すと最後に接続した機器に接続します。

- 2 Bluetooth機器側のBluetooth機能をオンにする。

Bluetooth機器側で、接続可能なBluetooth機器のリストが表示されます。

3 リストから本機を選ぶ。

次のように表示されます。

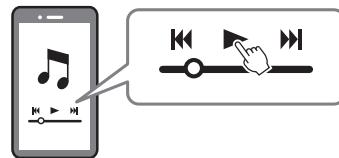


接続が完了すると、Bluetooth 機器側には接続完了メッセージが表示され、本機のBLUETOOTHランプが点灯します。



4 Bluetooth機器側で曲を再生する。

本機から音声が出ます。



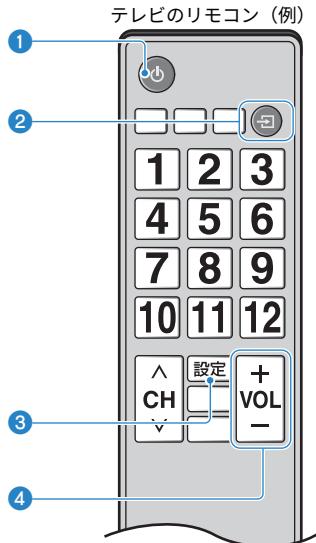
■ お知らせ

- Bluetooth 接続中に次のいずれかの操作を行うと、Bluetooth 接続が切断されます。
 - Bluetooth 機器でBluetooth 機能をオフにする。
 - 本機のリモコンのBLUETOOTH ボタンを5秒以上押す。
 - 本機でBluetooth 以外の入力を選択する。
 - 本機の電源をオフにする。
- 必要に応じて、Bluetooth 機器側の音量を調整してください。
- Bluetooth 機器は、本機から10mの範囲内で操作してください。
- Bluetooth 機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

再生時に便利な機能

テレビのリモコンで本機を操作する (HDMIコントロール機能)

HDMIコントロール機能（リンク機能）は、テレビと本機を連動させ、テレビのリモコンで本機を操作する機能です。HDMIケーブルで本機とテレビを接続すると、テレビのリモコンで以下のように操作できます。



① 電源のオン/オフ

テレビと本機の電源が連動します。

② 入力の切替え

テレビの入力切替えに連動して本機の入力も切り替わります。たとえば、テレビのリモコンでテレビ番組視聴を選択すると、本機の音声入力はテレビに切り替わります。

本機のHDMI IN端子にBD/DVDレコーダーを接続している場合、テレビのリモコンでBD/DVDレコーダーを選択すると、本機の音声入力はHDMI（BD/DVDレコーダー）に切り替わります。

③ 音声を出力する機器の切替え

テレビからの音声出力と本機からの音声出力を切り替えます。操作方法はテレビによって異なります。

④ 音量の調整

テレビの音声出力が本機に設定されている場合は、本機の音量を調整できます。

■ お知らせ

- テレビのリモコンで本機を操作できない場合は、テレビと本機のHDMIコントロール機能を設定してください。詳しくは次をご覧ください。
- 「HDMIコントロール機能を設定する」（37ページ）
- 本機の電源がオフになっていても、入力の切替えができます（HDMI信号パスループ）。
- テレビ画面の音量表示と、本機の音量表示は一致しない場合があります。

二ヶ国語放送の音声を切り替える

BS/地上デジタル放送のモノラル音声多重信号入力時に、再生する音声を選択します。

1 INFOボタンを5秒以上押す。



ボタンを押すたびに、主音声、副音声、主音声+副音声（主音声と副音声の両方）が切り替わります。ボタン操作時に点滅するランプの位置で、選択中の音声を確認できます。

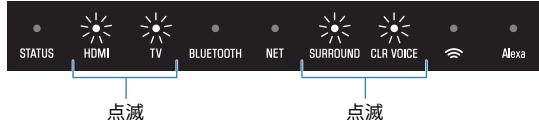
・主音声



・副音声



・主音声+副音声



■ お知らせ

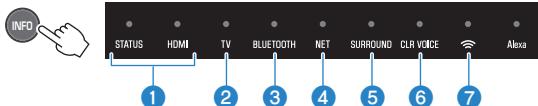
副音声が収録されていない場合やステレオ音声多重信号の場合は、音声は切り替えません。

本機の設定や音声信号の情報を表示する

再生中の音声信号の種類や本機の設定を表示できます。

1 INFO ボタンを押す。

INFO ボタンを押してから3秒間、音声情報を本機上面のランプで以下のように表示します。



① 音声信号の種類を表示します。

STATUS 点灯（白）：Dolby Digital

STATUS 点灯（赤）：DTS

HDMI 点灯（白）：AAC

STATUS、HDMI 消灯：PCM/入力なし

② ドルビープロロジックIIの有効/無効を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

■ お知らせ

ドルビープロロジックIIは、2ch ステレオ信号をサラウンドで再生しているとき、自動的に有効になります。

③ パスエクステンション機能の設定を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

④ Bluetooth機能の有効/無効を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

■ お知らせ

Bluetooth機器やネットワーク経由の音声の再生中は表示しません。

⑤ ダイナミックレンジ圧縮機能の設定を表示します。

点灯（青）：圧縮する（大）

点灯（白）：圧縮する（標準）

消灯：圧縮しない

⑥ 無線（Wi-Fi）機能の有効/無効を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

⑦ タッチパネルの有効/無効を表示します。

点灯：有効

消灯：無効

Sound Bar Controller アプリで音楽を再生する

ストリーミングサービスについて

本機でインターネット上の各種ストリーミングサービスが配信するコンテンツを再生します。各ストリーミングサービスの専用アプリを使用するか、Alexaに話しかけすることで、ストリーミングサービスやコンテンツの選択ができます。

対応しているストリーミングサービスについては、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。

また、次のウェブサイトでも各ストリーミングサービスについての補足情報を掲載しています。

<https://manual.yamaha.com/av/sb/ss/sbc/>

■ お知らせ

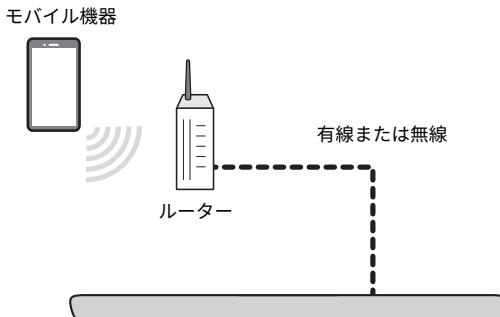
- 本機でストリーミングサービスをお楽しみになるには、有料サービスの申し込みが必要になる場合があります。各ストリーミングサービスについては、サービス提供者のウェブサイトをご覧ください。
- ストリーミングサービスが提供するサービスについては、予告なく変更、停止または終了されることがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モバイル機器の曲を再生する

モバイル機器の音楽をネットワーク経由で再生します。

モバイル機器にインストールしたSound Bar Controller アプリを使って再生します。

詳しくは、Sound Bar Controller アプリをご覧ください。



設定する

設定する

ランプの明るさを調節する（ディマー）

本機上面のランプの明るさを切り替えます。

初期設定は「暗い」です。

- 1 本機の電源をオフにする。
- 2 ミュージックボタンを5秒以上押す。
ランプの明るさの設定が変更されます。

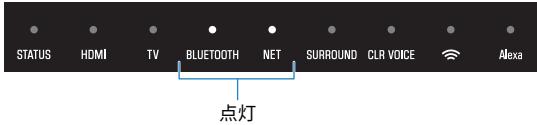


ランプの明るさの設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。

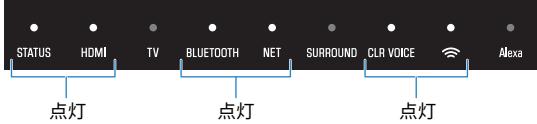
- 暗い（初期設定）



- 消灯



- 明るい



■ お知らせ

操作直後は明るくなり、数秒間経過すると設定した明るさになります。

HDMIコントロール機能を設定する

HDMIコントロール対応のテレビと本機を連動させ、テレビのリモコンで本機を操作する場合に使用するHDMIコントロール機能（リンク機能）の有効/無効を切り替えます。

初期設定は「有効」です。

1 本機の電源をオフにする。

2 HDMIボタンを5秒以上押す。

HDMIコントロールの設定が変更されます。



HDMIコントロール機能の設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯（有効にしたとき）
消灯（無効にしたとき）

■ お知らせ

- ・オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビを使用する場合や、HDMI信号バススルー機能を使用する場合は、HDMIコントロール機能を有効にしてください。詳しくは次をご覧ください。
 - 「オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビを接続する」（17ページ）
 - 「AV機器をHDMI接続する」（18ページ）
- ・テレビのリモコンで本機を操作できない場合には、本機のHDMIコントロールが有効に設定されていること、テレビ側の設定でHDMIコントロール機能が有効になっていることをご確認ください。詳しくは次をご覧ください。
 - 「テレビのリモコンで本機を操作できない」（47ページ）
- ・HDMIコントロール機能を無効にすると、本機の待機時消費電力を低減できます。

HDMI音声出力を設定する

HDMIコントロール機能が無効の場合に、本機のHDMI IN端子から入力した音声を出力する機器を設定します。

初期設定では、本機から出力します。

本機（初期設定） HDMIの音声を本機から出力する。

テレビ HDMIの音声をテレビから出力する。

1 本機の電源をオフにする。

2 3Dサラウンドボタンを5秒以上押す。

HDMI音声出力の設定が変更されます。



HDMI音声出力の設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯（本機から出力）
消灯（テレビから出力）

■ お知らせ

- HDMI入力端子の音声をテレビで再生する場合、本機では音量を調節できません。テレビで音量を調節してください。
- HDMIコントロール機能の設定（有効/無効）について、詳しくは次をご覧ください。
 - 「HDMIコントロール機能を設定する」（37ページ）
- HDMIコントロール機能を有効にしたままで音声を出力する機器を設定するには、テレビ側で音声を出力する機器を選んでください。
- 本機のHDMI IN端子に入力したHDMI映像信号は、常に本機のHDMI OUT（ARC）端子へ出力されます。

自動スタンバイ機能を設定する

自動スタンバイ機能により、電源の切り忘れを防止できます。自動スタンバイ機能を有効にすると、次のいずれかの場合に自動的に電源がオフになります。

- ・操作がない状態で8時間経過
- ・音声入力および操作がない状態で10分経過

初期設定は「有効」です。

1 本機の電源をオフにする。

2 本機上面の□を押したまま○を5秒以上押す。

自動スタンバイ機能の設定が変更されます。



自動スタンバイ機能の設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯（無効にしたとき）
消灯（有効にしたとき）

タッチパネルの有効/無効を設定する (チャイルドロック機能)

タッチパネルの操作を無効にすると、お子様の接触などによる本体の誤操作を防止できます。

初期設定は「有効」です。

1 本機の電源をオフにする。

2 INFO ボタンを5秒以上押す。

タッチパネルの有効/無効が変更されます。



タッチパネルの設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯（有効にしたとき）
消灯（無効にしたとき）

■ お知らせ

INFO ボタンを押すと、タッチパネルの有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- ・「本機の設定や音声信号の情報を表示する」（34ページ）

ネットワークスタンバイ機能の有効/無効を設定する

ネットワークスタンバイ機能を有効にすると、モバイル機器やBluetooth機器の操作で本機の電源を以下のようにオン/オフできます。

初期設定は「有効」です。

- モバイル機器にインストールしたSound Bar Controller アプリでも本機の電源をオン/オフできます。
- 本機の電源がオフのとき、Bluetooth機器側で本機に接続すると、本機の電源がオンになり、入力がBluetoothに切り替わります。

1 本機の電源をオフにする。

2 スポーツボタンを5秒以上押す。

ネットワークスタンバイ機能の有効/無効が変更されます。



ネットワークスタンバイ機能の設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯 (有効にしたとき)
消灯 (無効にしたとき)

■ お知らせ

ネットワークスタンバイ機能を有効にすると、無効のときに比べて電源オフ状態の電力消費量が多くなります。

無線 (Wi-Fi) 機能の有効/無効を設定する

無線 (Wi-Fi) 機能の有効/無効を切り替えます。
初期設定は「有効」です。

1 本機の電源をオフにする。

2 NETボタンを5秒以上押す。

無線 (Wi-Fi) 機能の有効/無効が変更されます。



無線 (Wi-Fi) 機能の設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯 (有効にしたとき)
消灯 (無効にしたとき)

■ お知らせ

INFO ボタンを押すと、無線 (Wi-Fi) 機能の有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「本機の設定や音声信号の情報を表示する」 (34ページ)

Bluetooth 機能の有効/無効を設定する

Bluetooth 機能の有効/無効を切り替えます。
初期設定は「有効」です。

1 本機の電源をオフにする。

2 BLUETOOTHボタンを5秒以上押す。

Bluetooth機能の有効/無効が変更されます。



Bluetooth機能の設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯 (有効にしたとき)
消灯 (無効にしたとき)

■ お知らせ

INFO ボタンを押すと、Bluetooth 機能の有効/無効を確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- 「本機の設定や音声信号の情報を表示する」 (34ページ)

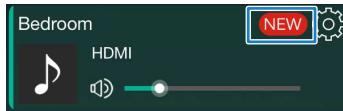
本機のファームウェアを更新する

機能の追加や不具合の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されることがあります。モバイル機器にインストールしたSound Bar Controllerアプリを使って、ファームウェアを更新できます。

■ 注意

- ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。
- インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。そのような場合は、時間をおいてお試しください。
- ファームウェアに関する詳細は弊社ウェブサイトをご覗ください。

新しいファームウェアが提供されると、Sound Bar Controllerアプリの画面に「NEW」のアイコンが表示されます。アイコンをタップした後、画面の指示に従ってファームウェアを更新してください。



HDMI 信号のフォーマットを設定する

一部のAV機器を本機に接続したとき、音が出ない、映像の色が異常、などの症状が出ることがあります。

このような症状は、本設定を切り替えることで改善される場合があります。

モード1（初期設定）通常はこの設定でお使いください。

モード2 映像などに異常が発生した場合に設定します。

1 本機の電源をオフにする。

2 ステレオボタンを5秒以上押す。



設定を次のように表示した後、本機の電源がオンになります。



点灯 (モード1)
消灯 (モード2)

初期設定に戻す

本機の設定をすべて初期状態に戻します。

- 1 本機の電源をオフにする。
- 2 Alexa以外のすべてのランプが点滅するまで、本機上面の◀▶を押したまま□を押す。



ダイナミックレンジ圧縮を設定する

ダイナミックレンジの圧縮レベルを設定します。

初期設定は「圧縮しない」です。

- 1 本機の電源をオフにする。
- 2 圧縮レベルに応じて、以下のようにリモコンを操作する。

圧縮レベル	機能	操作（ボタンを3秒以内に順に押す）
圧縮する（大）	最大のダイナミックレンジ圧縮を適用します。	[ステレオ] → [音量+] → [□]
圧縮する（標準）	一般的な部屋での視聴に合ったダイナミックレンジ圧縮を適用します。	[ステレオ] → [音量-] → [□]
圧縮しない	ダイナミックレンジ圧縮を適用しません。	[ステレオ] → [◀▶] → [□]

以下のようにランプが数秒間点灯し、ダイナミックレンジの圧縮レベルが変更されます。



■ お知らせ

INFO ボタンを押すと、ダイナミックレンジの圧縮レベルを確認できます。詳しくは次をご覧ください。

- ・「本機の設定や音声信号の情報を表示する」（34ページ）

付録

困ったときは（概要）

最初にご確認ください

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、最初に次の点を確認してください。

- ・本機、テレビ、AV機器の電源プラグがACコンセントにしっかりと接続されている。
 - ・本機、テレビ、AV機器の電源が入っている。
 - ・各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。
 - ・本機のファームウェアが最新になっている。
- 電源や配線に問題がない場合は、次を確認してください。
- ・「困ったときは（電源/動作全般）」（45ページ）
 - ・「困ったときは（音声）」（49ページ）
 - ・「困ったときは（Bluetooth®）」（51ページ）

「困ったときは」に沿って対処しても正常に動作しない場合や、それ以外の異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店、または巻末の「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

困ったときは（電源/動作全般）

電源が突然切れる

●自動スタンバイ機能により電源が切れた。

自動スタンバイ機能が有効に設定されていて、次のいずれかの条件の場合、自動的に電源がオフになります。

- 操作がない状態で8時間経過
 - 音声入力および操作がない状態で10分経過
- もう一度電源を入れてください。自動的に電源が切れないようする場合は、自動スタンバイ機能を無効に設定します。詳しくは次をご覧ください。
- 「自動スタンバイ機能を設定する」（39ページ）

●保護回路が作動した（本機上面のSTATUSランプが白または赤で点滅します）。

接続が正しいことを確認したあとで、もう一度電源を入れてください。たびたび電源が切れる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

電源が入らない

●保護回路が3回続けて作動した。

製品保護のため、電源が入らなくなります。電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

● [ランプが点滅している場合]

ファームウェアが正常に更新されていない。

- USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。
詳しくは、ヤマハウェブサイトの製品情報ページをご覧ください。
- 本製品の情報ページ→[ダウンロード]→[ファームウェア/ソフトウェア]

本体のタッチパネルで操作ができない

● タッチパネルの操作が無効になっている。

- タッチパネルを有効に設定してください。詳しくは次をご覧ください。
- 「タッチパネルの有効/無効を設定する（チャイルドロック機能）」（39ページ）

電源がオンのときにランプがすべて消灯している（電源オフのように見える）

● ランプの明るさが「消灯」になっている。

- お好みの明るさを選択してください。詳しくは次をご覧ください。
- 「ランプの明るさを調節する（ディマー）」（36ページ）

本機が正常に動作しない

● 外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。

- 電源プラグをコンセントから抜き、接続し直してください。

操作をしていないのに本機の電源がオンになる

● 近くで、別のBluetooth機器が使用されている。

- Bluetooth接続を切断してください。詳しくは次をご覧ください。
- 「Bluetooth®機器の音楽を聞く」（30ページ）

テレビの3Dメガネが機能しない

● 本機がテレビの3Dメガネ用発信部を隠している。

- テレビの3Dメガネ発信部の位置を確認し、発信部が隠れないように本機を移動してください。

テレビ画面にHDMI映像が正常に表示されない

● HDMIケーブルがしっかりと接続されていない。

- 本機とテレビのHDMI接続を確認してください。詳しくは次をご覧ください。
- 「オーディオリターンチャンネル（ARC）対応テレビを接続する」（17ページ）
 - 「オーディオリターンチャンネル（ARC）非対応テレビを接続する」（18ページ）

● 接続された機器間の通信に不具合が発生している。

- 接続された機器の世代によっては、通信に不具合が発生することがあります。その場合は、次をご覧ください。
- 「HDMI信号のフォーマットを設定する」（42ページ）

● テレビがHDCP2.2/2.3に対応していない。

HDCP2.2/2.3対応機器が必要な映像コンテンツを再生する場合は、HDCP2.2/2.3対応のテレビに接続してください。

● テレビのHDMI入力端子のうち、HDCP 2.2/2.3に対応していないHDMI入力端子に接続している。

HDCP 2.2/2.3対応機器が必要な映像コンテンツを再生する場合は、HDCP2.2/2.3に対応したHDMI入力端子に接続してください。

本機の電源をオフにしているとき、AV機器の映像や音声をテレビで視聴できない

● HDMIコントロール機能が無効になっている。

HDMIコントロール機能を有効にしてください。詳しくは次をご覧ください。

- 「HDMIコントロール機能を設定する」（37ページ）

リモコンで本機を操作できない

● 操作範囲から外れている。

リモコンの操作範囲内で操作してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「リモコンの操作範囲」（9ページ）

● 乾電池が消耗している。

新しい乾電池に交換してください。

- 「リモコンの電池を交換する」（10ページ）

● 本機のリモコン受光部に日光や強い照明が当たっている。

照明、または本機の向きを変えてください。

テレビのリモコンでテレビを操作できない

● テレビのリモコン受光部が本機に隠れている。

テレビのリモコン受光部が隠れないように、本機の設置位置を調節してください。

テレビのリモコンで本機を操作できない

● HDMIコントロール機能が正しく設定されていない。

正しく設定されているか次を確認してください。

- 本機のHDMIコントロールを有効に設定してください。

- テレビ側の設定で、HDMIコントロール機能を有効に設定してください。

- テレビの音声出力先の設定を、テレビ以外に設定してください。

それでもテレビのリモコンで操作できない場合は、次を実行してください。

- 本機およびテレビの電源を一度オフにしてからオンにしてください。

- 本機およびHDMI接続している機器の電源プラグをコンセントからはずし、30秒ほど経ってから、接続し直してください。

● テレビが本機の操作に対応していない。

HDMIコントロール機能に対応しているテレビでも、一部の機能が操作できないことがあります。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

Alexaで本機を操作できない

● Alexaが正しく設定されていない。

Sound Bar Controller アプリを使用して正しく設定してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「音声で操作する (Amazon Alexa) 」 (25ページ)

● 本機がネットワークに接続されていない。

ネットワークに接続してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「Sound Bar Controller アプリを使ってネットワークに接続する」 (21ページ)

Alexaに呼びかけても反応しない

● マイクが無効になっている。

■をタッチして、マイクを有効にしてください。

音が出ない

●再生したい入力が選ばれていない。

正しい入力を選んでください。詳しくは次をご覧ください。
- 「再生の基本手順」（23ページ）

●消音されている。

消音を解除してください。詳しくは次をご覧ください。
- 「再生の基本手順」（23ページ）

●音量が小さい。

音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。
- 「再生の基本手順」（23ページ）

●本機の電源コードがしっかりと接続されていない。

本機の電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。詳しくは次をご覧ください。
- 「電源に接続する」（19ページ）

●入力端子同士を接続している。

本機の入力端子とAV機器の出力端子を接続してください。

●本機が再生できない信号が入力されている。

AV機器側のデジタル音声出力設定をPCM、MPEG-2 AAC、DTSまたはDolby Digitalに変更してください。

●本機のHDMI IN端子に入力した音声をテレビで再生するように設定している。

本機で再生するように設定してください。詳しくは次をご覧ください。

- 「HDMI音声出力を設定する」（38ページ）

●HDMIコントロール機能が無効に設定されている。

ARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビと本機をHDMIケーブルのみで接続する場合は、HDMIコントロール機能を有効に設定してください。

HDMIコントロール機能を無効にしたまま本機で音声を再生するには、本機のTV端子（光デジタル）とテレビの音声出力端子を光デジタルケーブルで接続してください。

詳しくは次をご覧ください。

- 「HDMIコントロール機能を設定する」（37ページ）
- 「オーディオリターンチャンネル（ARC）非対応テレビを接続する」（18ページ）

●HDMIコントロール機能を使用しているテレビの音声出力先が、テレビの内蔵スピーカーになっている。

テレビのHDMIに関する設定で、音声出力先をテレビの内蔵スピーカー以外に切り替えてください。

サブウーファーから音が出ない

●再生している音声にサブウーファーチャンネルの信号や低音信号が含まれていない。

サブウーファーチャンネルの信号が含まれているソフトを再生して、サブウーファーから音が出ることを確認ください。

●サブウーファーの音量が小さい。

サブウーファーの音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。

- 「再生の基本手順」（23ページ）

電源を入れ直すと音量が下がる

● 音量自動調節機能により音量が下がった。

突然大音量が outputされるのを防ぐため、音量が大きい状態で電源を切った場合、次回電源を入れたときに音量が自動的に調節されます。必要に応じて、音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。

- 「再生の基本手順」 (23ページ)

サラウンド感が得られない

● ステレオ再生している。

サラウンド再生または3Dサラウンド再生に切り替えてください。詳しくは次をご覧ください。

- 「3D サラウンド/サラウンドで再生する」 (28ページ)

● 音量が小さい。

音量を上げてください。詳しくは次をご覧ください。

- 「再生の基本手順」 (23ページ)

● テレビ、またはAV機器が常に2チャンネル（PCMなど）で出力するように設定されている。

テレビ、またはAV機器の音声出力設定をAAC、Bitstream（ビットストリーム）などへ変更してください。

● テレビのスピーカーからも音が出ている。

テレビの音量を最小にしてください。

● 視聴位置が本機に極端に近過ぎる。

ある程度、離れた位置で視聴ください。

雑音が入る

● デジタル機器や高周波機器が本機の近くに置かれている。

本機と該当機器の距離を離してください。

困ったときは（Bluetooth®）

Bluetooth®機器と接続できない

● 本機の入力がBluetooth以外になっている。

入力をBluetoothにしてください。詳しくは次をご覧ください。

– 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」（30ページ）

● 本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。

本機とBluetooth機器を近づけてください。

● 電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

● お使いのBluetooth機器がA2DPプロファイルに対応していない。

A2DPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。

● Bluetooth機器に登録されている接続情報が正しく機能していない。

Bluetooth機器の接続情報を削除してから、本機とBluetooth機器の接続操作を行ってください。

● Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。

パスキーが「0000」の機器をお使いください。

● 本機と別のBluetooth機器が接続している。

Bluetooth機器の接続を切断してから、新しいBluetooth機器を接続してください。

Bluetooth®接続時に音が出ない、または音が途切れる

● Bluetooth機器の音量が小さすぎる。

Bluetooth機器の音量を上げてください。

● 本機の入力がBluetooth以外になっている。

入力をBluetoothにしてください。詳しくは次をご覧ください。

– 「Bluetooth®機器の音楽を聴く」（30ページ）

● Bluetooth機器を再生していない。

Bluetooth機器を再生してください。

● Bluetooth機器の音声出力先が本機になっていない。

Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本機を選択してください。

● Bluetooth接続が切断された。

再度Bluetooth接続を行ってください。

● 本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。

Bluetooth機器を本機の近くに移動してください。

● 電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。

電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。

困ったときは（ネットワーク）

ネットワーク機能を使用できない

- ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。
ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。
- IPv6 タイプのルーターと接続しようとしている。
本機はIPv6 のネットワークには対応していません。IPv4 のネットワークに接続してください。

無線LAN ルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない

- 無線LAN ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。
無線LAN ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
- 本機と無線LAN ルーター（アクセスポイント）の距離が離れている。
本機と無線LAN ルーター（アクセスポイント）を近づけてください。
- 本機と無線LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。
本機と無線LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がない場所に設置してください。
- 無線LAN ルーター（アクセスポイント）が特定のチャンネルを使用する設定になっている。
無線LANルーターを自動でチャンネルを選択する設定に変更してください。使用するチャンネルを指定する場合は、1チャンネルまたは11チャンネルを指定してください。

無線ネットワークが見つからない

- 電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。
それらの機器の電源を切るか、本機や無線LAN ルーターから遠ざけてください。
- 無線LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。
無線LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。

ストリーミングを再生できない

- 選択したストリーミングサービスが現在停止している。
しばらく経ってからもう一度再生してください。
- ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。
ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、ストリーミングサービスは各サービス指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はストリーミングサービスにより異なります。

Sound Bar Controller アプリで本機が検出されない

- 本機とモバイル機器が同じネットワークに接続されていない。
ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
- モバイル機器が2.4 GHz帯の無線ネットワークに接続されていない。
モバイル機器を2.4GHz帯の無線ネットワークに接続してください。
- モバイル機器が無線（Wi-Fi）で無線LANルーターに接続されていない。
モバイル機器を無線（Wi-Fi）で無線LANルーターに接続してください。
- マルチSSID 対応ルーターを使用している。
無線LAN ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。本機とモバイル端末は同じSSIDのネットワークに接続してください。まず、プライマリ-SSIDへの接続をおすすめします。
- 無線（Wi-Fi）機能が無効になっている。
無線（Wi-Fi）機能を有効に変更してください。詳しくは次をご覧ください。
 - 「無線（Wi-Fi）機能の有効/無効を設定する」（41ページ）

ネットワーク経由でファームウェアを更新できない

- ネットワークの接続状態が悪い。
しばらく経ってから再度実行するか、USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください。

仕様

主な仕様

本機の主な仕様です。

アンプ部

実用最大出力（非同時駆動、JEITA）

- | | |
|-----------|---------|
| ・ フロントL/R | 30W×2ch |
| ・ サブウーファー | 60W |

スピーカー部

フロントL/R

- | | |
|-------------|-------------|
| ・ 形式 | 密閉型（非防磁） |
| ・ スピーカーユニット | 5.5cm コーン×2 |
| ・ 再生周波数帯域 | 170Hz～22kHz |
| ・ インピーダンス | 6Ω |

ツイーター

- | | |
|-------------|-------------|
| ・ 形式 | 密閉型（防磁） |
| ・ スピーカーユニット | 2.5cm ドーム×2 |
| ・ 再生周波数帯域 | 5kHz～23kHz |
| ・ インピーダンス | 6Ω |

サブウーファー

- | | |
|-------------|-------------|
| ・ 形式 | バスレフ型（非防磁） |
| ・ スピーカーユニット | 7.5cm コーン×2 |
| ・ 再生周波数帯域 | 62Hz～170Hz |
| ・ インピーダンス | 3Ω（6Ω×2） |

デコーダー部

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 対応音声信号 | PCM（5.1chまで） |
| （HDMI/光デジタル） | Dolby Digital（5.1chまで） |
| | DTS Digital Surround（5.1chまで） |
| | MPEG-2 AAC（5.1chまで） |

入力端子

- | | |
|-------|------------|
| HDMI | 1（HDMI IN） |
| 光デジタル | 1（TV） |

出力端子

- | | |
|----------------|------------------|
| HDMI | 1（HDMI OUT（ARC）） |
| アナログ（RCA/モノラル） | 1（SUBWOOFER OUT） |

その他の端子

USB	1 (UPDATE ONLY)
LAN	1 (NETWORK)

Bluetooth

受信動作	他機器からの受信機能
Bluetoothバージョン	Ver 4.2
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	受信：SBC、AAC
Bluetoothクラス	Bluetooth Class 2
見通し通信距離	約10m
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式（受信時）

ネットワーク

Ethernet 規格	100BASE-TX/10BASE-T
対応コーデック	WAV (PCM フォーマットのみ) /FLAC : 192 kHz まで ALAC : 96 kHz まで MP3/WMA/MPEG-4 AAC : 48 kHz まで

無線ネットワーク

・ 無線LAN 規格	IEEE802.11b/g/n
・ 無線周波数帯域	2.4GHz
・ 暗号化方式	WEP、WPA2-PSK (AES) 、 Mixed Mode

総合

電源電圧	AC 100V ~ 120V、50/60Hz
消費電力	30W (定格) 4.3W (ボイスコントロール待ち受け)
待機消費電力	
・ HDMIコントロール無効、ネットワー クスタンバイ無効	0.2W
・ HDMIコントロール無効、ネットワー クスタンバイ有効 (有線/Wi-Fi/ Bluetooth)	1.7/1.9/1.7W
・ HDMIコントロール有効、ネットワー クスタンバイ無効	0.6W
・ HDMIコントロール有効、ネットワー クスタンバイ有効	2.2W
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	
・ テレビの前などに設置	890×53×131mm
・ 壁掛け設置、スペーサーあり	890×131×62mm

質量	3.4kg
----	-------

■ お知らせ

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

対応しているHDMI映像・音声信号 フォーマット

本機が対応しているHDMI映像・音声信号です。

音声信号

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2ch、32～192kHz、16 / 20 / 24bit
マルチチャンネルリニアPCM	6ch、32～192kHz、16 / 20 / 24bit
ビットストリーム	Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC

映像信号

次の映像信号に対応しています。

- Deep Color
- x.v.Color
- 3D映像信号
- High Dynamic Range (HDR) 映像信号
 - HDR10
 - HLG

次の解像度に対応しています。

- VGA
- 480i / 60Hz
- 480p / 60Hz
- 576i / 50Hz
- 576p / 50Hz
- 720p / 60Hz、50Hz
- 1080i / 60Hz、50Hz
- 1080p / 60Hz、50Hz、30Hz、25Hz、24Hz
- 4K / 60Hz、50Hz、30Hz、25Hz、24Hz

著作権保護規格

HDCP 2.3対応

■ お知らせ

- 本機へ接続する方法については、AV機器の取扱説明書もご覧ください。
- コピープロテクトがかかるDVDオーディオを再生する場合、お使いのDVDプレーヤーによっては映像信号および音声信号が output されないことがあります。
- 本機はHDCP非対応の、HDMIやDVI端子を装備したテレビやプロジェクターには対応していません。HDCP対応の有無については、お使いのHDMI機器やDVI機器の取扱説明書をご覧ください。
- ビットストリーム音声信号をデコードするには、AV機器がビットストリーム信号をそのまま出力するように、AV機器で設定を変更してください。詳しくは、AV機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続したテレビの性能により、伝送する映像信号の解像度などが変わります。
- この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

対応しているデジタル音声信号フォーマット

本機が対応しているデジタル音声信号です。

光

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2ch、32～96kHz、16 / 20 / 24bit
ビットストリーム	Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC

HDMI (ARC)

音声フォーマット	詳細
2チャンネルリニアPCM	2ch、32～96kHz、16 / 20 / 24bit
ビットストリーム	Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC

■ お知らせ

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

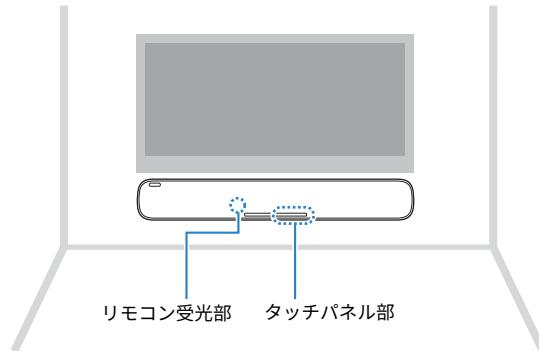
本機を壁に取り付ける

本機背面のネジ掛け穴を使って、壁に本機を設置します。

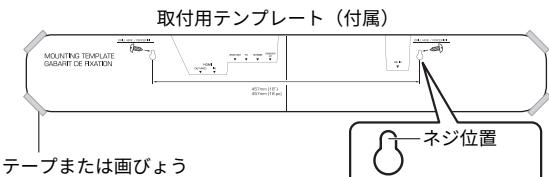


注意

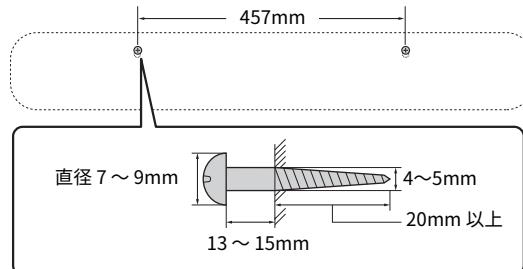
- 本機を壁に取り付ける場合は、必ずお買い上げの販売店または専門の施工業者に依頼してください。本機を安全に取り付けるには、技術と経験が必要です。
- しつこいやベニヤ板のような弱い材質の壁には設置しないでください。本機が落下する原因になります。
- 市販のネジは、規定サイズで十分な強度があるものをご用意ください。くぎや両面テープ、規定サイズ以外のネジを使用すると本機が落下し、けがの原因になります。
- ケーブル類は必ず固定してください。誤って手や足に引っ掛かると、本機が落下し、けがの原因になります。
- 本機にもたれかかったり、上から強い力をかけたりしないでください。落下の原因となります。
- 設置後、本機がしっかりと固定されていることを確認してください。誤った設置により起きた事故について、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。



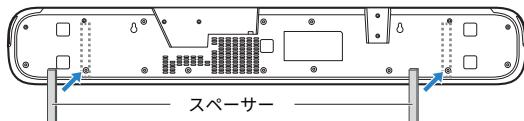
- 1 取付用テンプレート（付属品）を壁に仮付けし、ネジ位置の印をつける。



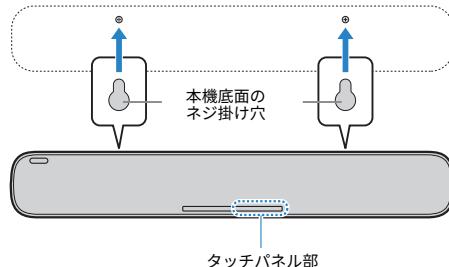
- 2 取付用テンプレートを壁から取り外し、壁につけた印の位置にネジを取り付ける。



- 3 スペーサー（付属品）のはく離紙をはがし、粘着部を本機底面に貼る。



- 4 本機をネジに掛けて設置する。



Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2019 Yamaha Corporation

2022年3月発行 NV-D0

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

AV18-0027